

産業建設常任委員会委員長報告

(23. 10. 4)

産業建設常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要と結果を報告します。

まず、報告第1号の専決処分は、損害賠償額の決定についてであります。

市道路面の陥没箇所に自動車の車両底部が接触し、部品が破損した事故に対するものであり、別段異論なく、採決の結果は全員をもって承認すべきものと決定しました。

なお、市道の維持管理については、今後一層万全な体制をとられるよう望むものであります。

次に、第1号議案、平成23年度亀岡市一般会計補正予算の本委員会所管分であります。その主な内容は、

農林水産業費では、国の戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業補助金を活用して実施する君塚水路工事、山ノ条水路工事に係る小規模基盤整備事業費の増額補正。

商工費では、亀岡祭の観光PRのために山鉾提灯の補修の補助に係る観光推進事業

経費の増額補正。

土木費では、木造住宅耐震改修の補助金を増額し、耐震化を促進する安全なわが家の耐震化促進事業費の増額補正等であり、採決の結果は、別段異論なく、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第10号議案市道路線の認定については、開発に伴うものなど3路線を認定するものであり、別段異論なく、採決の結果は全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本委員会の報告といたします。

安全・安心のまちづくりに向けて

9月補正予算

- ・ コミュニティ助成事業による街路灯の増設
- ・ 認定外道路の整備補助金を増額
- ・ 木造住宅の耐震改修助成金の引き上げなど

問

コミュニティ助成事業による街路灯設置の要件は。

答

地域のコミュニティ活動への助成を目的としたものであり、公共施設に行くための連続性が要件となる。

問

耐震化助成金を90万円にする内容は。

答

これまでは耐震改修に要した経費について、補助対象額120万円を限度に1/2以内、最大60万円までを補助していた。東日本大震災による耐震化への意識の高まりから、今回さらに30万円を上乗せし、3/4の90万円までを補助するもの。